

視点1 学びを引き出す「授業改善」の工夫

視点1 課題提示の工夫 視点2 対話的な学びの工夫 視点3 言語活動と評価の工夫
 視点4 伝統文化教育の視点の工夫①本物に触れる活動②地域との交流③学んだことを発表する場

2年 生活科「わたしの町 はっけん」

「課題提示の工夫」

お店を調べた1回目と働いている人や場所を調べた2回目の同じところや違いを比べました。



「対話的な学びの工夫」

各グループのいろいろな発表を聞くことで「もっと知りたい」という気持ちへ繋がりました。



「言語活動と評価の工夫」

「植柳の町のすてきを発見し、紹介しよう」という活動設定で、児童が主体的に表現しました。



「伝統文化教育の視点の工夫」

本物を実際に見たり、触れたり話を聞いたりして植柳の「すてき」を実感できるようにしました。



3年 総合的な学習の時間 「ふろしきのひみつを見つけよう」

「課題提示の工夫」

ふろしきでいろいろな形（四角、丸、つつ）の物を自分たちで考え、包んでみました。



「対話的な学びの工夫」

各グループのいろいろな意見や感想を聞くことで、ふろしきのよさと先人の知恵を再認識しました。



「言語活動と評価の工夫」

「ふろしきのひみつを見つけよう」という活動設定で、児童が主体的に表現できるようにしました。



「伝統文化教育の視点の工夫」

地域の人から、ふろしきの包み方や使用体験を聞いてふろしきの「ひみつ」を実感しました。



5年 総合的な学習の時間

「植柳校区の『棒踊り伝承リーダー』になって、地域の宝を未来につなげよう」

「課題提示の工夫」

一人1台のタブレットを活用し、生き生きと活動しました。



「対話的な学びの工夫」

自分の考えを持ちよりグループで話し合い、生き生きと活動しました。



「言語活動と評価の工夫」

グループでの意見を持ち寄り、考えを整理し生き生きと活動しました。



「伝統文化教育の視点の工夫」

保存会のインタビュー映像を視聴し、地域の方の思いを理解しました。

